

公益社団法人化学工学会
粒子・流体プロセス部会 2024年度第1回定例幹事会 議事録

日時：2024年9月12日(木)12:00~12:58

場所：北海道大学第55回秋季大会 N会場(N棟3階)

出席者(敬称略)：仁志(議長)、太田、加納、岩崎、菰田、島田、長津、日出間、春藤、伊奈、
増田、金井、寺坂、竹中、古川、小林(書記)

欠席者(敬称略)：押谷、立元、水田、吉田、中田

議題

<確認事項>

1. 前回臨時幹事会(2024年5月17日)議事録の確認
仁志部会長から前回臨時幹事会議事録について資料1に基づき説明があり、承認された。

<協議事項>

1. 本年度部会配分金および分科会への配分について
仁志部会長から、資料2に基づき、部会への収入、シーリング移管額について説明があり、分科会への配分額について説明があり、承認された。
2. 部会賞について(プレゼンテーション賞、海外学生会員等)
加納副部会長から、プレゼンテーション賞について現在の規定では明記されていない海外学生会員を受審対象に含めることについて提案があり、承認された。また、社会人コースの学生会員は受審対象に含めないが、現状では申し込み時に確認ができないためシンポジウムオーガナイザーで確認することとなった。
シンポジウムオーガナイザーが受審対象者を把握しやすいようにするため、次年度以降(第56回秋季大会以降)は、奨励賞、プレゼンテーション賞ともにエントリー制として、講演申し込み時の備考欄に受審希望者は「奨励賞へのエントリー希望」、「プレゼンテーション賞へのエントリー希望」を明記させる方法に変更する方向で次回年会時の定例幹事会に向けて部会賞担当でたたき台を作成することとなった。その場合には、シンポジウムの趣旨説明への明記など講演申し込み者への周知が十分にされることが重要であるとの意見が出た。
3. その他
特になし。

<報告事項>

1. 2024 年度第 1 回部会 CT ・部会長合同会議報告

仁志部会長から、現状の各分科会の遊休資産、基金、直近 3 年間の支出額について説明があり、基金の計画年次が過ぎると遊休資産となりシーリング基準額を上回る遊休資産となり移管が起こる可能性があることが説明された。

また、化学工学会財務状況について説明があり、9 月末に臨時の部会 CT ・部会長合同会議が開催されるため、必要に応じて臨時幹事会をオンライン開催することが伝えられた。

基金については現状は新たな基金化は認められていないが、来年度内閣府の方針変更がある可能性があり、変わるかもしれない。現状は支部・部会活動資金手当制度を使って欲しいとの説明があった。申請書は後日分科会会長宛に配信予定である。支部・部会活動資金手当制度について、シーリング発生時に、例えば 3 年後の国際会議の準備資金として前借りは可能かという質問が寺坂監事よりあった。

JCEJ 掲載料の補助について、部会としては事務局の遊休資産が少なく予算化することは難しいことが説明された。寺坂監事から国際会議などでの補助について質問があり、分科会、国際会議など独自の会計の中で投稿料の補助をすることについては問題ないことを事務局の小林より回答した。改めて、小林から論文誌編集委員会事務局の山下さんに確認することとした。

2. 部会賞進捗状況の報告

シンポジウム賞について、菰田幹事から受審対象件数の報告があった。動画賞について、長津幹事から受賞後に動画が閲覧できなくなることはないように、少なくとも翌年度の動画賞の決定までは閲覧可能にするよう募集要項に記載することになったことが説明された。また、動画賞、技術賞、フロンティア賞について、締め切り日時を統一したことが説明された。

3. ニュースレター進捗状況

日出間幹事から 8 月 5 日に発行済みと説明された。一方、学会からのメール配信を希望しないとすると配信されず、かなり多くの人数に配信出来ていないとの説明があった。

4. 2024 年度部会セミナー実施内容および準備内容の確認

島田幹事から年会 1 日目午後開催予定で計画中であることが説明された。

5. 「第 12 回若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会」準備状況

伊奈幹事から資料 3 に基づき説明された。対面実施に戻し、交流会を実施する。学生の交流会費を無料とし部会から 132,705 円の補助金を見込んでいるとの予算説明があった。部会事務局として、予算作成時に補助を見込まずに事務局費を差し引いた金額を分科会に配分してしまったため、どの程度の補助が可能か確認してから決定することが回答された。

6. MMPE2025

寺坂監事(MMPE2025 議長)から資料 4 に基づき説明があった。

7. HP 関連報告

事務局の古川幹事から HP 掲載など要望があれば連絡を頂きたいとの説明があった。

8. 分科会報告

各分科会の活動報告・計画が分科会長より説明された。流動層からは資料 5 に基づき第 30 回流動化・粒子プロセッシングシンポジウムの開催について仁志部会長から代理で説明があった。

9. 部会 CT 賞の推薦

部会 CT 賞についてまだ推薦を受け付けているため、適任者がいたら推薦をお願いしたい旨、仁志部会長から説明があった。